



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

「虹」

Vol.14

2023. 3月

手術室特集

「くせが強い」術者たちをコントロールする手術室

それをバックアップする中央材料室と ME 室



どうやれば

4つの部屋に割り振れるかな？



Operating room

手術室



手術室の特徴

2021年4月よりペリオ外来（周術期管理外来）が開設され、術前から患者様の情報を外来・病棟・手術担当看護師が共有できるようになりました。

2021年1月より開始となったMako手術件数は、累計366件（2022.12末）。また、2022年4月から肩関節手術が開始となり、2022年12月までに、34件実施しています。

ダヴィンチ手術は2021年度31件実施しています。AIの活用やロボット支援手術など、医療が発展していくなかで患者様に対して安心して、そして安楽に手術を受けることができるように手術室スタッフが協力して日々の業務を進めています。



Central supply room

中央材料室

中央材料室は、手術室や外来・病棟などで使用した医療器材を、洗浄・乾燥・点検・包装・滅菌を行う部門で6名の洗浄員で業務を行っています。当院では、腹腔鏡手術やロボットを用いた最先端の手術を数多く実施しており、それに使用する手術器材は繊細で複雑な形状をしています。外来や健診での処置に使用する器材も洗浄や滅菌を必要とします。私たちは直接患者様に会うことはありませんが、患者様の治療に携わっていることを意識し、器材を丁寧に扱い、洗浄・滅菌が正しく行われ、安全な医療器材を提供できるように心がけています。



手術室の概要

診療科：整形外科・外科・肛門外科・泌尿器科・婦人科・皮膚形成外科・眼科・麻酔科

手術室：4室

2021年度手術件数：2935件

Anesthesiology

麻酔科

「手術の後の痛みが一番心配です！」
私たち麻酔科医におまかせください。私たちの技術で痛みを失くします。

というときに駆使するのが、「神経ブロック」です。
神経ブロックは、手術をする部位の神経を局所麻酔薬でブロックして、手術の痛みを失くします。

神経ブロックの方法は、超音波装置（エコー）でターゲットとする神経を描出して、神経ブロック用の針を神経の近くまで進め、確実に神経に局所麻酔薬が効くようにします。

「手術の後、痛くありませんでした。」と患者様におっしゃっていただくことは、麻酔科医にとって最上の喜びです。



膝の人工関節ロボット手術での神経ブロック。これがあれば、膝の手術も怖くない！

Medical engineering

ME室



臨床工学技士は生命維持管理装置の操作及び医療機器全般の保守管理を行う技士です。生命維持管理装置とは、人の呼吸（人工呼吸器）、循環（人工心肺装置）、代謝（血液透析装置）の機能の一部を代替し、補助することが目的とされている装置をいいます。

近年では様々な医療機器があり、中でも“ロボット”と呼ばれる医療機器があります。当院では、腹腔鏡手術を支援するロボット“Davinci Si（ダヴィンチ）”を設置しており、準備・操作・管理を臨床工学技士が行っています。

その他に、整形外科で使用するロボット“Mako（メイコー）”があり、こちらも当院では設置しています。



AMAT チーム、 当法人の救急災害医療チーム BLUE PHOENIX の活動を一部ご報告させていただきます！



「伯鳳会グループ大規模災害訓練」にて、トリアージポスト、災害医療車「Medical ConneX」を担当しました。訓練を通して、学んだことが多く、今後に活かしたいと思えます！

「ぼうさいこくたい 2022」

「メディカルクリエーションふくしま 2022」にて災害医療車「Medical ConneX」を展示させていただき、数多くのご来場者様にご説明させていただきました。その中で励ましのお声などいただきました。今後より一層精進していきたいと思えます！



編集後記

大阪中央病院の特色の一つが専門的な手術を数多く行っている事があげられます。多くの症例をこなす執刀医はこだわりを持つ「くせが強い」個性派集団です。これをうまくまとめるのが手術室です。

今回は手術室とそれをサポートする中央材料室・ME 室を特集しました。

病院レポート 「虹」

2023年3月発行 Vol.14

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505 (代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533 (直通)

FAX 06-4795-5535 (専用)

その車は、走る病院。

災害医療車「Medical-ConneX」メディカル・コネクス

医療法人 伯鳳会がコンセプトを描き、第一号車を導入した災害医療対応のモビリティ・ソリューション。
世界初(※)の免疫・生化学検査機器とCTを同時搭載し、COVID-19などの感染症にも対応が可能。
検査車両と電源車両からなり、水やエネルギーの外部補給も不要。
AI診断とITを駆使し、災害医療支援を即座に展開する。



※CT装置と生化学・免疫装置を同時搭載した移動型医療ソリューション。シーメンスヘルスケア調べ



病院ホームページ

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

#青いハートがあふれる社会を



医療法人伯鳳会
大阪中央病院
HAKUHOKAI Osaka Central Hospital

